

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	いじめ防止対策推進事業			会計	款	項目	大専	小専	
				01	10	01	04	03	62
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	指導課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	西村 淳				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内小中学校児童生徒	意図	児童生徒が安心して生活できる環境を整える
事業内容	いじめの防止等のための対策を総合的かつ効果的に実施することにより、いじめがなく、児童生徒が安心して生活することができる環境を整えることを目的とする。			
事業開始から現在までの状況変化	いじめ防止対策推進法、千葉県いじめ防止対策推進条例を受け、平成27年4月より、流山市いじめ防止対策推進条例を制定した。平成28年2月には流山市いじめ防止基本方針を策定した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	いじめ認知件数	1,600	2,307	1,749		→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	認知件数の多さは教職員のいじめへの意識の高さととらえることができる。組織全体で軽微ないじめも早期に発見し、対応できるようになってきている。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成30年度におけるいじめの認知件数は小学校で1246件、中学校で503件で合計1749件であり、これは児童生徒からの訴えを全て計上した数である。 この結果をもとに、全ての事案において聞き取りを行い、継続した指導を行っている。結果としてきめ細やかな対応や指導を行うことができている。			
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,504,500	4,522,400	3,490,400			
事業費(b)(円)		72,000	1,166,400	194,400			
うち一般財源		72,000	1,166,400	194,400			
職員給与費(c)(円)		3,432,500	3,356,000	3,296,000			
人役・職員(人)		0.50	0.50	0.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	流山市いじめ防止対策基本方針と学校いじめ防止対策基本方針の整合性を図る。いじめ対策連絡協議会といじめ対策調査会の定期開催を行う。	③取組における課題(Check)	協議会、調査会の委員の日程調整や関係機関との連携
②H30に実施した取組(Do)	学校いじめ防止対策方針の内容確認した。また、いじめ対策連絡協議会を3回、いじめ対策調査会2回開催した。また、1回臨時開催を行った。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	組織的な対応に努め、いじめの未然防止、早期対応が図れるよう関係機関と連携を強化する。